



Rotary International District 2650 Nara Japan

奈良大宮ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin

■創立：昭和54年1月23日 ■例会：毎週火曜日 17:30

■事務所：奈良市大宮町6丁目2-1 南都銀行大宮支店内 電話 0742-33-8583

■例会場：奈良市高畑町1096番地 奈良ホテル本館 電話 0742-26-3300(代)

■会長：矢追家麻呂 ■副会長：藤井正勝 幹事：石野捨雄



会長報告

本日16時より第10回の理事会を開催いたしました。

- 佐保川清掃については、移動例会といたします。詳しくは橋本社会奉仕委員長より報告頂きます。
- 本日皆さんの状差しに定款細則改正についての書類を入れました。4月19日の例会前に臨時総会を開催し、改正の賛否を問います。本日欠席の方には、改正の内容とともに、臨時総会の開催を文書にてご連絡いたします。本日ご出席の皆様に対しては、このご報告をもって開催通知といたします。
- 現在東日本大震災の義援金と支援物資の依頼がたくさん来ています。物資については、賞味期限が切れている、衣類を送って頂いても水不足のため洗濯ができない、等の問題が出ているようですので、当クラブとしましては義援金のみの協力いたします。6月28日の例会まで義援金募金のBOXを回しますので、ご協力をお願い致します。
- 年度末家族例会につきましては、6月19日（日）奈良パークホテルで開催致します。詳細は親睦委員会より報告があります。

理事会報告は以上です。

- ◆地区がとりまとめた東日本大震災の義援金については、4月5日現在、96クラブ中62クラブから義援金が集まり、総額は15,427,964円でした。
- ◆4月2日、右足首の骨折で入院されておられます多田廣会員のお見舞いに、石野幹事、宮西親睦活動委員長、麴谷会員、私の4人で行って参りました。入院生活では不便なことはありますが、元気になっております、わざわざお見舞い頂き有難うございます、との事です。
- ◆3月23日鵜尾の会・東日本大震災救援チャリティコンペの決算書が届いています。収入は930,000円、支出は782,958円で、残金が147,042円で、当日の義援金が149,400円、合計296,442円でしたが、300,000円にして送金されました。
- ◆寄付をいたしました、「いのちの電話」理事長の植村圭子さんから礼状がきました。回覧致します。
- ◆「Eクラブ」について、会員募集が始まりました。募集内容については先週詳しくお伝えしましたが、会費は前・後期各3万円、また入会費も3万円です。ローターアクトの卒業生2年未満の方には何か特典があるそうです。

発行日／2011年4月10日

2010-2011/36

Vol.32

No. 1548

HP: <http://naraomiya-rc.jp>
E-mail: info@naraomiya-rc.jp

2010～11年度

第2650地区のテーマ

『ロータリーを良く学び、
変化を知り、
忘れたことを思い出そう』

国際ロータリー第2650地区

ガバナー 栗田 幸雄



四つのテスト

- 真実かどうか
- みんなに公平か
- 好意と友情を深めるか
- みんなのためになるかどうか

例会プログラム

第36回 4月10日
通算1548回

1. 家族花見例会

例会状況報告

第35回 4月5日
通算1547回

R.C.は出席から 1547回

●会員数	69名
●出席免除者数	24名
●出席者数	47名
●補填者数	—
●出席率	83.9%

1545回の修正

●会員数	68名
●出席免除者数	24名
●出席者数	51名
●補填者数	6名
●出席率	89.5%

委員会報告

定款細則検討委員会・森下副委員長

クラブ細則検討につきましては結論を本日皆様に配布いたしました。これまで、情報集会等で色々頂きましたご意見の中で、最も多い意見を採用してあります。特に大事な所は下線を引いてありますので、一度よく読んで頂き、何か意見があれば19日の臨時総会迄に幹事までお願いします。

社会奉仕委員会・橋本委員長

佐保川清掃について、再度のご連絡です。5月15日（日）、7時45分に佐保小学校（一条通を東に行って春日荘の向かい、育英学園の西側）に集合してください。清掃自体は8時から、3時間位の予定ですので、11時過ぎには終了するようです。その後、桃谷楼にて11時半より移動例会を行います。佐保小学校は駐車場のスペースが少ないことに加え、例会ではアルコールをご用意いたしますので、出来るだけ車での参加は控えてください。またこれは先日ご案内しました通り、地区の後期助成金の対象となっていますので、是非多数の皆さんの参加をお願い致します。

増井副幹事

- 本日例会終了後、次年度理事会を開催いたしますので、次年度理事役員の方は、桐の間に集合してください。
- 状差しに次年度の委員会構成表を入れました。まだ準備中ですが、次年度にご協力お願い致します。

親睦活動委員会・宮西委員長

- 先日の例会後に開催致しました新入会員の歓迎会には、多数の皆様にご出席頂き、ありがとうございました。
- 本日状差しに、日曜日の家族花見例会の時間等詳細を書いた文書を入れました。16時より奈良ホテルで行います。
- 年度末の家族例会は6月19日（日）奈良パークホテルで開催予定です。

友好クラブ委員会・潮田委員長

2月に行ってまいりましたフィリピン・タクロバンロータリークラブより、お礼状とバナーが送られてきましたので、回覧致します。2650地区で会員お一人につき1,000円を援助として出していますので、そのお礼も兼ねています。

幹事報告

- 前回の例会で、門脇さんが入会されました。委員会は、親睦活動委員会と社会奉仕委員会です。
- 4月10日は家族例会ですので、4月12日は休会です。

地区より委嘱状

米山奨学生のカウンセラー：谷川千代則 君

米山奨学生名：張敏さん

期間：2011年4月～2012年3月

学校：奈良先端科学技術大学院大学

会員増強・拡大委員会

委員 宮西 正伸 君

WCS委員会

委員 潮田 悦男 君

VTT委員会

委員 高野 治 君

米山奨学委員会

委員 植倉 一正 君

財団補助金委員会

委員 楠原 忠夫 君



米山奨学生のカウンセラー：谷川千代則 君



会員増強・拡大委員会 委員 宮西正伸 君



WCS委員会 委員 潮田 悦男 君



VTT委員会 委員 高野 治 君



米山奨学委員会 委員 植倉 一正 君



財団補助金委員会 委員 楠原 忠夫 君

写真の話

写真とは、1839年（いまから170年程前）に、主としてニエプス・ダゲールにより完成された、対象物の像を銀板に写しとる技法です。フランス政府がそれを買取り、一般に公開された技術のことです。

この写真術は、科学・物理学の進展とともに感光材（ゼラチンに銀とハロゲン混ぜフィルムに塗ったもの。ハロゲン、ヨウ素、臭素等の元素）が改良され、1840年にはウィーンでF 3.6と言う現在の一般的なレンズとほぼ変わらない明るさを持つレンズが発表され、短時間露光で撮影できるようになり、肖像写真の政策も可能となったことで、社会に広く受け入れられてきました。

9年後の1848年には、もう日本に渡来しています。そして先人達の工夫、努力により、渡来後14年目の分級2（1862）年には写真館が改行されました。今から150年前です。私が教育を受けた55年前、写真は化学でした。化学反応による画像の定着。銀塩写真と呼ばれる技法でした。いまは電子技術でデジタル写真と呼ばれています。デジタル写真は、フィルムの代わりにICチップに0と1の信号を記録させ、電気記号として電子素材により画像を作る方法らしいです。

私の会社では、婚礼写真部門の一部で、銀塩フィルムで撮影している以外は、ほとんどの部門がデジタル化してしまいました。銀塩写真を一言で言えば、フィルムに光を当てると化学反応により潜像ができますが、そのままでは目に見えませんので、見えるように現像液の中で更に化学反応させ、ハロゲン化銀となった銀の原子を定着させて画像を作る方法です。モノクロ写真もカラー写真も原理は同じですが、カラー写真は大変精密・複雑な化学反応の集積されたものです。

私が20歳代の時、その頃は勿論モノクロでしたが、自分で撮影したフィルムを暗室に持ち込んで現像液に浸ける際、最初に教えてもらったのは、「目を瞑ってゆっくり二拍数えろ」ということでした。約3分間目を瞑っていると、暗室の中の赤い仄かなセーフティライトで充分フィルム現像の進行度を確認することができました。勿論、その頃の私は若く、目も良かったので、3分もいると本当に暗室とは言えないような明るい作業室での仕事でした。化学反応がどのように行われているのか、という学問的裏付けはありませんが、親に言われた通りやっている内に、像が現像液の中に出てくる神秘さ、クリエイティブの感動、それらが強烈なインパクトを私に与えてくれました。何も知らない写真の技術でしたが、毎日毎日が楽しく、嬉しく、達成感のある仕事でした。

しかし四十代の始めに目を悪くし、徐々に目が翳むようになり、カメラの接眼部に自分の目に合ったレンズを入れて写してきましたが、それでも印刷原稿にするには使えない程ピンが甘くなってしまう、撮影を諦めてしまいました。その5～6年後より、写真は電子に変わっていきました。30年ほど前にSONYが出したマビカという機械が、カメラの電子化の走りでした。

デジタルカメラの部品の8割位が電子部品だそうです。そしてCANONやNIKON等元々のカメラメーカーも頑張っていますが、今では、ソニーやパナソニック、カシオといった電気屋さんがカメラを作っています。部品の殆どが電子部品の為、カメラとはいえ、電子部品を作れないメーカーは大変な御苦労をなさっている状況で、それと同様の苦労が写真業界も覆ってしまいました。

私が現役の頃、KONICAや富士フィルム等の感材メーカーが我々の業界に対し、本当に手厚く育成し、指導してくださいました。正に“痒い所に手が届く”というような感じで我々業界を育ててくれました。しかし、電子化によりこれらの感材メーカーが得意でない電子の部分に力を注がねばならなくなり、我々に対する手厚い保護の余裕もなくなってしまったと感じております。

いま、富士フィルムでは、感材の売上は全体の一割を切ったということです。それでは何を売っているのか。詳細は分かりませんが、印刷資材や医療機材、化粧品、サプリメント等、にシフトしているようです。それは、乳剤を作る時の細胞レベルの物質を細密に分解する技術を利用し、人間の細胞にいち早く薬剤を届けられる技術を活用する、そういう方向に進んだようです。

しかし写真が電子化することにより、写真の機材だけでなく、この10～15年で環境がすっかり変わってしまいました。白無垢の打掛の花嫁と羽織袴の花婿、ウェディングドレスとタキシードのお二人のポーズ、皆様もご経験なさった婚礼写真も近頃ではあまり評価されなくなって、花嫁を抱き上げたり、一緒に駆け出したりと動きのあるポーズが注目されるなど、お客様の好みはどんどん変化しています。

写真の話はこれ位にして、ロータリーの話の種をいくつかお話しします。

出席の話

私が入会を許された昭和57年は、100%出席が必然でしたので、火曜日の午後だけでなく、いつも出席について緊張していました。数年たった頃、メーキャップ先で500%出席の方の噂話を聞きました。その頃、当クラブでは特に出席に対する活気がありましたので、ロタキチ（生活のすべてをロータリー中心にするロータリアンの

こと)の話をよく聞いていたので、おれには無理だがすごいことをする人もいるもんだ、と感心していました。それからメーキャップに行く度、出席の話題が出たらすぐ500%の事をたずねましたが、確かな事はわかりませんでした。

平成5(1993)年9月那覇RCでのMUの際、出席の話題になりそのことについて尋ねましたら、500%出席の方は、那覇東RCの藤田栄一様だと教えていただきました。私は漠然と東京あたりのロータリアンと想像していたのですが、ほお～、那覇にすごいロタキチがいるのだと感じました。もっとも沖縄と東京は同じ地区です。

しかし、たとえ例会が毎日那覇市内であると言えども、月曜から金曜までの毎日々々1年間も出席し続けることは、並大抵の事ではありません。機会があり、電話で藤田様とお話をお聞きしたところ、那覇市内で保険代理店を経営なさっておられ、何かしら連絡業務があり、例会に毎日行っているとは言っても仕事を兼ねて行っているのだから、貴方が評価して下さるようなことは何もないですよ、と本当に軽くさらっと言われましたので、ますますびっくりしてしまいました。後日、那覇東RCの事務の方にお聞きした話では、本人もこの偉業をいつ達成したのか、記録を探さねばはっきりわからないとおっしゃっているそうです。まだ現役で活躍されていると思いますので、もし沖縄でメーキャップされることがありましたら、西武オリオンホテルで木曜日12:30から例会が行われておりますので、お寄りになって、話の種を紡いで頂ければおもしろいかと思います。

バッチ(襟章)の話

ポールハリスが愛用されていたバッチが日本に在るのをご存知ですか。

ポールハリスは昭和10(1935)年にマニラで開催された、太平洋ロータリー大会第5回大会に出席するため、国際ロータリー・ヒル会長と共に日本へ立ち寄りました。2月10日新大阪ホテルに於いて大阪・神戸・京都の3クラブ合同午餐会で歓迎を受けました。その夜、神戸クラブの方々の盛大な見送りを受け、マニラに出航されたのですが、この時には、バッチを交換した記録はないそうです。しかし、ハリス夫人とヒル会長夫人へ花束と絵日傘がプレゼントされ、その記念写真は今でも神戸クラブの宝物として大切に保存されているそうです。ポールハリスが来日したのは、この時だけです。

「ロータリーの友」3月号の記事によれば、昭和15年に日本ロータリーは国際ロータリーから退会しましたが、昭和24年に日本国内の7クラブだけ復帰しました。翌昭和25年、オーストラリア・メルボルンのロータリアン、アンガス・ミッチェルさんが神戸RCを訪問された際に、「私は、昨年度の国際ロータリーの会長でした。日本ロータリーの、国際ロータリーへの復帰のお世話をしました。」と自己紹介されましたので、神戸クラブの方は大変びっくりされました。且、元RIの会長なら、東京ロータリークラブか大阪ロータリークラブへ行かれるだろうに、何故神戸クラブをお訪ね下さったのか、と尋ねられたアンガス・ミッチェルさんは、「昭和12年に、オーストラリア政府の訪日使節団の一員として日本に来た時、神戸ロータリークラブを訪ねました。その時お会いした方々に会いたくてやって来ました」とのこと。その時の記念写真をお持ちになれましたが、写っている方はどなたも存命ではありませんでした。ミッチェルさんは大変落胆されましたが、神戸ロータリークラブの方々は、戦後のものの無い時でしたが、白鶴の醸造元の嘉納社長の別荘で、何とかミッチェルさんの歓迎会をされたそうです。これを受けてミッチェルさんは、「私が会いたいと訪ねて来た人には会えなかったが、それ以上に溢れるばかりの友情が喜ばしい限りで、この感激は一生私の心に残るだろう」と述べ、嘉納社長とバッチを交換されました。そして交換が終わった後に、「このバッチは或る因縁が熟した時に、ポールハリスが私の好意に反応して、彼の胸につけていたバッチを私のものと交換したものです」と告げられました。それが、神戸ロータリークラブに現在残っているポールハリスのバッチだそうです。これも神戸クラブの4つの宝の一つだそうです。

交換されたのは嘉納社長ですが、昭和29年、神戸ロータリークラブ創立30周年の折、「このポールハリスのバッチをいつまでも私個人が持っているべきではない。神戸ロータリークラブに委譲するので、クラブ会長が会長職を務める時に着用してもらいたい」と寄贈されました。

皆さんも神戸ロータリークラブにメーキャップ等で行かれた際には、「神戸ロータリークラブの四つの宝」についてお聞きになられれば、神戸ロータリークラブの方も喜びになるのではないかと思います。

ソングの話

私達のクラブでは月の第一例会に「奉仕の理想」を、そして「どこで会っても」や「手に手つないで」「我等の生業」を歌います。これらの歌はいつ作られ歌われはじめたのでしょうか。

昭和8(1933)年～10(1935)年の2期にわたってガバナーを務められた村田省蔵ガバナーの呼びかけで日本人ロータリアンの造ったロータリーソングが募集され、昭和10年5月5日の第7回地区大会の席上で次の四曲が発表されました。

第1席「旅は道連れ世は情け 情けは人のためならず」(著作権法上抵触の恐れが☒あるという事で後に取り消されたらしいです)

第2席「奉仕の理想」前田和一郎詞(京都)・萩原英一曲(東京)

第3席「平和を人の世に」田崎慎治詞(神戸)・早川弥左衛門曲(名古屋)

第4席「我等の生業」高野辰之詞・岡野貞一曲(共に東京音楽学校教授)

私は第3席の「平和を人の世に」という曲を聴いたことがないのですが、お聴きになられた方がいらっしゃったらどんな歌だったか教えて頂きたいものだと思います。

「ロータリーの友」3月・4月号にも紹介されていましたが、日本が昭和24年R Iに復帰したのち、三年後には地区が二つに分割されました。その時に以後日本はどんどん発展・拡大し、地区分割が行われるだろう。その時の為に、皆で共通のものを持とう、との思いから、「ロータリーの友」の創刊と新しいソングを作ろう、という2つを実行されたそうです。その歌の一つが「手に手つないで」で、昭和26年4月25日の全国1地区最後の地区大会・大阪大会での終了時に、大会S A Aだったオリエンタルホテルの小曾根真造さんが「今まで1地区でしたが、今後は2地区になり、共に相まみえる機会が少なくなるだろうから、共通のものを持とうとロータリーソング「手に手つないで」が作られた。今、この大会を閉じるに当り、皆様どうぞ手をつなぎ、円陣を作り、手を振り合って、皆で「手に手つないで」を歌って別れましょう。」とリードされたらしいです。それが、今我々が何か機会がある毎に歌っている「手に手つないで」の基礎が作られた、という訳です。この歌は東京の矢野一郎という方が作詞作曲されました。この方は凄いことに、昭和28年にも「どこで会っても」を作られておられます。ですから我々が月に4回歌う内の半分はこの方の歌を歌っているのです。

ロータリー100周年（平成17年）記念の時に「新しい時代を生きるロータリー」が作られました。皆さんお聴きになられたことがありますか。私も聴いたことがありません。是非、ソングの方には聴かせて頂きたいと思っています。

それともう一つ。「ロータリーの友」誌は、昭和28年1月に創刊されました当初、プライベートな編集から始まりました。事務所は東京南R C所属の、大日本印刷の佐久間専務（当時）のご好意で、役員会議室の一室を貸していただき、広告を出稿していただきたい、広告費は前払いでお願いしたいという形で経費を捻出し、創刊されたのだそうです。因みにこれは昭和55年（1980）にはR Iの公式地域雑誌として認証され、現在に至っています。

関西の栄光

関西が元気だった大正10年頃、東京では大正9年（1920）にロータリークラブがつくられ、大正11年（1922）には大阪、大正13年（1924）には神戸と名古屋で、そして大正14年では京都でロータリークラブが産声を上げました。名古屋は関西ではないでしょうが、5つの内3つも関西のクラブであったことになります。その時の関西には凄い馬力があったんです。また、元気な関西になって欲しいものだと思います。



本日計 24,000円 累計 1,947,000円

矢追家麻呂君 桜も咲き始め、ようやく春の兆しを感じられる様になりました。気分も春モードにして厳しい寒さで縮んだ心身を伸ばしましょう。

橋本和典 君 なごり雪と言うには余りの本格的な雪の降る中、高野山から大股まで熊野古道小辺路を歩きました。東北にも「今、春が来てきれいになったよ」と言ってもらえる日が早く来る事を心から望んでいます。

楠原忠夫 君 麴谷さん、本日の卓話ごくろうさんです。4／3山歩き会熊野参詣道「高野山～大股」16.8km山歩きの皆さんお世話になりました。

植倉一正 君 4月3日山歩き会で熊野参詣道の小辺路を、高野山から大股まで焼く17kmを、雪の降る中、雪化粧をした古道を歩きました。

藤野城市 君 昨日、三男が無事中学校に入学しました。しっかり勉強してもらいたいもんです。

谷川千代則君 連続欠席のおわび

今崎和民 君 ニコニコに協力。

野上利樹 君 ニコニコに協力！

NOMC第156回 熊野参詣道

小辺路 (1)

水ヶ峰越「高野山～大股」

(日 時) 平成23年4月3日 (日)

(参加者) 麴谷・飯田・小池・楠原・橋本・森下・辻・北折・向井・植倉

(行 程)

6:30 近鉄 新大宮駅前 発
| マイクロバス
8:20 高野山観光協会前 着
8:30 高野山観光協会前 発 (登山開始)
|
9:30 薄峠 通過
|
10:30 大滝 通過
|
12:20 東屋 着
| <昼食>
13:00 東屋 発
|
14:15 大股 着
| <入浴 标のせ川>
15:30 野迫川温泉 発
| マイクロバス
19:00 近鉄 新大宮駅前 着 (解散)



次週の例会
4月19日 (火)

卓話 「我が国の塗料産業について」 藤川 保雄 会員